長万部の教育コーナー

幼稚園編み物教室

長万部マリア幼稚園

冬の足音が聞こえて来る頃になると幼稚園の年長組では恒例の編み物が始まります。ミニサイズの機織り機で毛糸を通しながら編んでいくポシェットや自分のお家で準備した毛糸でマフラーを編んだり男の子も女の子もみんなそれはそれは真険そのものです。自分の分はもちろん、家族の分の為にコツコツ毎日編んで、完成させ、プレゼントし、お家の方に喜んでもらってとても嬉しそうにしている子どもたちの姿を見ると私たちも気持が暖かくなります。毎日コツコツと集中して作り上げることの喜びは心の糧となることでしょう。

「今、キャンパスでは」

東京理科大学

10月21日（土）に、学寮祭を東京理科大学長万部キャンパスで開催しました。当日はあいにくの天気で、外テントの企画も体育館内等で行うなど大忙しでしたが、多くの学生の協力もありたくさんの来場者に足を運んでいただける結果となりました。

今年の学寮祭では、多くの長万部町の方に来ていただくことをテーマにしてきました。始めは何も分からず一から自分たちで行動し、企画を作成するなど手探りの状態でしたが、先生方や事務の方々の助けもあり最後には自分たちが満足のいく学寮祭になりました。そしてよさこいダンス部をはじめとした多くの部活動が学寮祭のために練習や準備を重ね、当日はその成果を発揮することが出来ました。こうした学寮祭実行委員のみならず、全員の学生が学寮祭を楽しみそしてよいものにするために努力してきたことが、今回の学寮祭が成功したことの理由の一つだと思っています。さらに、長万部太鼓保存会さんや長万部高校吹奏楽部さんの演奏を学寮祭で披露していただいたことで、多くの学生はもちろん長万部町の方にも楽しんでもらえた学寮祭になりました。

最後に、第31回学寮祭が無事に終えられたのは、長万部町の方々のご協力のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。今後とも東京理科大学をよろしくお願い申し上げます。

第31回学寮祭実行委員会一同

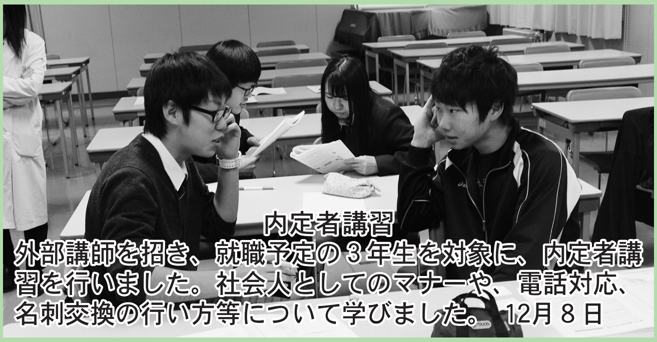
よさこいダンス部

写真で見る学校の様子

長万部高等学校

修学旅行
好天に恵まれた４泊５日。初めてのこと・ものに触れて、一回り大きくなって帰ってきました！　11月２日

１年生が、東京理科大学で体験授業を受講しました。「１本のひもを使って、面積が最大になるような図形を作りなさい」という課題に対し、協力して試行錯誤しているシーンです！　11月２日



内定者講習
外部講師を招き、就職予定の３年生を対象に、内定者講習を行いました。社会人としてのマナーや、電話対応、名刺交換の行い方等について学びました。　12月８日

静狩小学校

11／15　野菜となかよし　―漬物作りに挑戦―

11／21　複式学習の研究　―町教育研究集会―

12／９　ボールで心をつなぐ　―ミニバレー大会―

21世紀の社会を生き抜くために

静狩小学校長

池　田　克　己

　２０１１年と少し古い情報ですが、アメリカの研究者キャシー・デビットソンがニューヨークタイムズ紙に

> ２０１１年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65％は、大学卒業時に今は存在していない職業につくだろう。

という研究発表を載せました。この研究発表の影響は大きなものがあり、現在でも教育の現場のみならず、ビジネスの世界など様々な場面で取り上げられています。

　日本社会の未来が、同じようになるかは定かではありませんが、現在の日本の様子を見ていると、日本でも十分に考えられるものです。実際に最近のＡＩ技術の進歩は非常に速く、実生活にすっかり溶け込んでいます。例えば、お掃除ロボットが家にあり、自動的に掃除をしてくれますし、最近話題のＡＩスピーカーに話しかければ、家の電化製品を操作したり、メールまで送ってくれたりします。また、車の自動運転技術も進み、衝突回避など実用化されている技術もあります。

　新しい職業でいうと、２０１７年度の中高校生のなりたい職業の上位に「ユーチューバー」なる職業が入ってきています。

　それでは、未来を生きるこれからの子供たちに必要な力とはどんなものでしょうか。それは単に知識を暗記し再生すればよいのではなく、論理的に考えたり他者に分かりやすく表現したりする実社会で活用できる能力です。例えば、熟考して適切に判断することや他者と力を合わせ、良いものを創出すること、また、新しいアイディアを創出することなどです。

　このように社会が急速に大きく変化していることを受けて、文部科学省では平成29年の３月に学校での学習の規準となる「学習指導要領」を改訂しました。

　新しい学習指導要領では、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」「何を学ぶか」という３つの視点で作られています。「何ができるようになるか」では「学びに向かう力・人間性の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」の３つの柱があります。そして、「どのように学ぶか」では「主体的・対話的で深い学び」という視点で考えます。また、「何を学ぶか」では「新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し」を行います。

　新しい学習指導要領での学習が全面的に始まるのは、小学校では２０１８年、中学校では２０１９年、高校は２０２０年からとなっています。しかし、全面実施へ向けて、小学校では、２０１８年の４月から一部実施されていきます。

　小学校３年生から「外国語活動」という学習が始まります。これまで５・６年生が学んできた内容を３年生から行うものです。また、５・６年生は「外国語活動」から「外国語」と変わり英語の読みや書きの内容が増えていきます。

　これまでの「道徳の時間」は「特別の教科　道徳」として、教科書を使って、考え議論する道徳の形に変わります。

　その他の教科についても、教科書の内容を記憶するだけでなく、課題を見付け、これまで学習したことを土台に、話し合いながら、課題を追究し解決したことを伝えていくという形になっていきます。

　そのために各学校では、様々な機会を利用して、先生方の授業を変えていくように研修を行うとともに、４月からの学習の進め方などの検討を進めているところです。２０１８年は学校の動きが、大きく変わる年となりますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。